

**令和6年第4回壬生町議会定例会
閉会中の継続調査報告書
(総務常任委員会)**

総務常任委員会 閉会中の継続調査委員長報告

総務常任委員会に係る閉会中の継続調査結果をご報告申し上げます。

令和6年第3回壬生町議会定例会において、閉会中の継続調査といたしました「新庁舎の運営状況について」、令和6年11月1日は委員5名、26日は全委員の出席のもと調査しました経過と結果をご報告申し上げます。

まず、総務課より調査事項についての説明を受け、その後、質疑応答が行われました。

委員からの「新庁舎の電気代は、想定していた額なのか、想定外だったのか。」との質問に対し、「電気代は、新庁舎の規模が大きくなり額が増えるということとは想定しておりましたが、具体的に算定できていませんでした。」との説明を受けました。

また、委員からの「委託業務はどのような経緯で委託になったのか。」との質問に対し、「自家用電気工作物の保安管理業務は、旧庁舎に引き続き随意契約で関東電気保安協会に委託しています。庁舎清掃管理業務委託は、シルバー人材センターに随意契約で委託しています。緑地維持管理業務委託は入札で行っています。庁舎警備委託は、プロポーザル方式で募集をかけた上で、北関東総合警備保障が落札しています。エレベータ保守は、東芝エレベータに随意契約で委託しています。消防設備等保守点検業務委託は随意契約しています。」

との説明を受けました。

また、委員からの「太陽光パネルについて、発電した電気は電気会社に売電をしているのか、それとも使用しているのか。」との質問に対し、「売電しておりません。発電をしている時間に、優先的にその電気を使っております。」との説明を受けました。

また、委員からの「庁舎の中で節電運動みたいなものを何かしているか。」との質問に対し、「節電運動ではないが、総務課から定期的に適切な空調の利用方法について、全員が見られる掲示板に載せています。特に大空間の1階は、総務課でしか管理ができないもので、空調の稼働時間を考慮して、電力がピークのときに重ならないよう行っています。」との説明を受けました。

また、委員からの「職場環境は改善されたが、足りない部分や、改善の余地があるという声は職員から出てきているのか。」との質問に対し、「DX化が進んでいる中で、タブレットが配付されたのは部課長のみで、それ以外の職員にも普及が進んでいくと、業務も効率化が図れるものと思っています。また庁内にWi-Fi等の通信環境が整備され、パソコンを各会議室に持っていき外部とのオンライン会議が出来るなど進化を感じています。」との説明を受けました。

また、委員からの「職員適正化として職員数を増やす方向で計画しているが、なぜ増員出来ないのか。」との質問に対し、「町の定員適正化計画に沿った形で

進めている状況で、採用者数と職員数に関しては上回っている状況です。ただ、ここ数年、新規事業、大型の事業が出てきていることもあり部署によっては、時間外がどうしても発生するような状況になっています。」との説明を受けました。

また、委員からの「多目的広場を今後さらに、有効活用する計画があるか。また、へりの発着場として利用できるのか。」との質問に対し、「広場の有効活用は今後いろいろな形で集える場所として活用し、広場だけではなく、庁舎の一部、大会議室、トイレ、ロビー等を併せて使うことによって、有効活用が出来るように考えています。また、当初の計画でへりポートとして使えるような形で考えていましたが、県道が近く、さらに建物が近いと離着陸に影響があるので難しいと消防より指摘されています。ただし大規模な災害の場合は使用するべきと考えています。」との説明を受けました。

また、委員からの「車椅子の動線が確保され、身体障害者枠の採用があったが、重厚感のあるドアを使っている場所もある。車椅子の方が利用しやすいようになっているのか。」との質問に対し、「車椅子の動線の関係は、庁舎内にどうしても段差がある場所や扉が重い箇所もありますので、今後検討していく必要があると考えています。」との説明を受けました。

質疑を終え、委員会として「働きやすい職場環境となったので、現在の業務量に見合う数の職員を採用してほしい。また、多目的広場や会議室等を今以上

に有効活用できるよう改善に取り組んでいただきたい。」と要望しました。

以上、総務常任委員会の閉会中の継続調査結果報告とさせていただきます。

令和6年11月29日

総務常任委員会委員長 小川律男